



平成20年度水道技術者専門別研修会（高度浄水処理部門）（2月16日～2月20日）

55名の参加を得て「浄水処理プロセス（中間塩素処理を含む）」「オゾン・活性炭処理」「水道水の消毒と代替塩素剤」「東京都の高度浄水処理」及び東京都水道局三園浄水場見学、「膜処理」「紫外線（UV）処理」「生物処理」について研修を実施した。

第873回会誌編集委員会（2月17日）

本誌3月号、4月号の編集方針、投稿原稿の審査、新規原稿の取扱い並びに水道協会雑誌の編集企画について審議した。

第162回工務常設調査委員会（2月18日）

水道用ソフトシール仕切弁（JWWA B 120）の規格改正、水道用ダクトイル鋳鉄管・異形管及びモルタルライニング（JWWA G 113・114, A 113）の規格改正の検討、平成21～22年度機械・電気・計装専門委員会の検討課題について決定した。

また、「水道の安全保障に関する検討会」の報告、「水道施設におけるエネルギー対策の実際」の発刊などについて報告を行い、それぞれ意見交換を行った。



第4回水道施設耐震工法指針・解説改訂特別調査委員会（2月18日）

「水道施設耐震工法指針・解説（2009年版）」の原稿（案）に関する最終報告及び意見交換等を行った。



第21回広報専門委員会（2月18日）

はじめに、報告事項「安全でおいしい水道水推進運動について」は、事務局より、平成18年10月より始まった推進運動の、現在までの実施報告と今年度の進捗状況について報告があった。

続いて、議題①「広報マニュアルの作成について」は、分担執筆された原稿について各委員から出された意見の検討を行い、今後は正副委員長、事務局の預かりとして最終調整を図ることとした。



第142回水道技術管理者協議会（2月20日）

設定議題①原水高pH時の凝集処理方法、②水道設備工事発注における入札参加資格要件、③管布設工事の発注方法、④配水管布設工事における埋戻材、⑤水道事業が努めるべき鉛製給水管の解消範囲、⑥水道技術の継承について意見交換を行った。

また、「水道の安全保障に関する検討会」の報告、「震災対応等特別調査委員会」の報告、水道用塗覆装鋼管及び異形管（JWWA G 117・118）の規格改正などについて報告を行った。



第60回全国水道研究発表会論文審査等合同会議（2月23日）

本会議では全国水道研究発表会について、発表論文の審査、分野別の会場割り付け、座長の推薦等のプログラム編成を行っており、本会の事務・工務・衛生常設調査委員会の推薦者、学識経験者、並びに会誌編集委員会の推薦者を集め年1回開催されている。

今年度の発表論文について審議した結果、284編の発表が行われることとなった。



第34回水道 GLP 認定委員会（2月24日）

高松市水道局、茨城県企業局及び社団法人 山梨県食品衛生協会の水道 GLP 認定について審議を行い、審議の結果、水道 GLP 認定を決定した。また、福岡地区水道企業団施設部水質センター（認定番号：JWWA-GLP020）のサーベイランス結果について審議し、水道 GLP 認定維持を決定した。

水道 GLP 認定証授与式

水道 GLP 認定委員会で認定が決定した下記の水質検査機関の認定証授与式を日本水道協会専務理事室において行った。



2月26日高松市水道局経営企画課
水質管理センター



3月10日茨城県企業局水質管理センター



3月10日社団法人 山梨県食品衛生協会

第3回地下水利用専用水道に関する水道料金体系検討小委員会（2月27日）

地下水利用専用水道に関する水道料金体系案について審議した。

第24回検査施行要項等専門委員会（2月27日）

以下の議題について慎重審議を行い、次回検査事業委員会に報告することとなった。

- ① 日本水道協会水道用塗覆装鋼管検査施行要項改正について
- ② 日本水道協会水道用塗覆装鋼管の異形管検査施行要項改正について
- ③ 検査工場以外からの検査申し込みに関する取扱い要領改正について
- ④ 日本水道協会水道用品検査通則の一部改正について
- ⑤ 日本水道協会検査関係諸様式に関する要綱の一部改正について
- ⑥ 「日本水道協会検査工場の登録に関する規則」に係わる登録の取消し及び検査の一時停止基準要綱（案）の制定（中間報告）について

第629回抄録委員会（3月6日）

栗本細野（株）川崎工場の水道用鋳鉄異形管製造過程などを視察し、その後、同工場会議室にて本誌平成21年6月号に掲載する海外文献の抄録内容について審議した。

